



快適な環境づくりのために

創立30周年記念誌

●1975~2005●

有限責任中間法人

全国ダクト工業団体連合会



本日は、有限責任中間法人全国ダクト工業団体連合会創立30周年式典に際し、全国から多数の会員と役員のご参集を戴きました。さらには、ご来賓として所轄官庁であります、国土交通省および発注側団体である社団法人日本空調衛生工事業協会と関係団体役員のご臨席を賜り、厚く御礼を申し上げます。

当連合会の創立は第一次オイルショック直後の昭和50年ですが、その後のわが国経済の進展は目覚しく「ジャパンナンバーワン」といわれた、わが世の春を謳歌する時代が続きましたが、やがて今となっては空しさだけが残る、バブル期に移行しました。

この間、われわれダクト業界は工事量としては、経済繁栄の余慶を享受しましたが、慢性的な人手不足と人件費の高騰などが続き、やがてバブルの崩壊による経済の停滞で、この10年余りは工事高が激減し、厳しい建設不況はその後も続いて、今日に至っております。

このような激動の30年でありましたが、当連合会は創立以来ダクト工事業唯一の全国団体として、経営・技術・労務・安全などについての調査・研究・向上に取り組む一方、関係官公庁および公的機関からの諮問に対する答申や、調査への協力と対応をまいりました。

また、新工法の採用や仕様の改定、さらには契約の適正化・元下関係の改善などについての要請・陳情も、積極的に活動を実践してきたところであります。

いま、わが国の経済社会は大きな転換点を迎えており、これを乗り切るためには、各産業とも過去にとらわれない改革が必要とされており、先年国土交通省から発表された「専門工事業イノベーション戦略」などもその一環と認識しております。

全ダ連は一昨年6月、有限責任中間法人としての法人格を取得しましたが、これを契機に会員の更なる結束と協調によって、厳しい現状に屈することなく、「Never Give Up!」の精神をもって明日への新たな発展を目指して、全力を傾注していく所存であります。

最後に、当連合会の益々の発展と、ご出席各位のご健勝を祈念いたしまして、記念式典のご挨拶といたします。

平成17年5月11日

有限責任中間法人 全国ダクト工業団体連合会
会長 須長 義明

全ダ連誕生から30年——。 空間環境のプロフェッショナル



として、これからも快適な風を送りつづけます。